

東京高速道路（KK線）再生プロジェクトにおける 「共創プラットフォーム コンダクター」に パノラマティクス齋藤精一氏が就任

東京高速道路株式会社（本社：東京都中央区）は、2024年4月1日よりパノラマティクスを主宰する齋藤精一氏を東京高速道路（KK線）再生プロジェクトの「共創プラットフォーム コンダクター」に起用いたしました。

弊社は、東京都の方針に基づき、自動車専用の道路を緑に囲まれた歩行者中心の公共的空間へ再生し、次世代の都市インフラを生み出す事業に取り組んでおります。

この度、KK線再生プロジェクトにおいて新たな価値を生み出す仕組みとして、「共創プラットフォーム」を発足いたします。この「共創プラットフォーム」は、多領域の専門家が本再生プロジェクトに参画する仕組みであるとともに、弊社や東京都等の行政機関、周辺の地域団体と連携することで、多様なステークホルダーとの「共創」の機会を創出し、その成果をプロジェクトに積極的に取り込むためのプラットフォームです。

齋藤精一氏は、グローバルなプロジェクトを数多くデザインした実績を有していることから、当再生プロジェクトの価値向上を担う「共創プラットフォーム」の中心でタクトを振っていただくことを期待しております。

本再生プロジェクトを通して、都心の真ん中にありながら、緑とふれあい、誰もが心地よく過ごせる場を創出し、ひと・まち・環境をつなぎ、東京に新しい価値や魅力を与える『グリーンインフラ』を実現してまいります。

▶ KK線再生プロジェクト公式WEBサイト (<https://www.kk-saisei.com/>)

■共創プラットフォーム コンダクター 齋藤精一氏 プロフィール

パノラマティクス主宰／株式会社アブストラクトエンジン代表取締役／
クリエイティブディレクター

1975年 神奈川県生まれ。建築デザインをコロンビア大学建築学科（MSAAD）で学ぶ。2006年に株式会社ライゾマティクス（現：株式会社アブストラクトエンジン）を設立。社内アーキテクチャ部門を率いた後、2020年に「CREATIVE ACTION」をテーマに、行政や企業、個人を繋ぎ、地域デザイン、観光、DXなど分野横断的に携わりながら課題解決に向けて企画から実装まで手がける「パノラマティクス」を結成。

2023年よりグッドデザイン賞審査委員長。2023年 D&AD 賞デジタルデザイン部門審査部門長。2025年大阪・関西万博 EXPO 共創プログラムディレクター。



■共創プラットフォーム コーディネーター 佐々木実氏 プロフィール

パノラマティクス所属
コンサルティングファーム、証券会社、AI スタートアップを経て、現職。
内閣府や経済産業省とのプロジェクトや、自治体との実証プロジェクト、
民間企業での新規事業開発、M&A、企業再生、資金調達等のプロジェクト
をマネジメント。2023年 ザルツブルグ・グローバル・セミナー フェロー。



Photo. Muryo Homma (Rhizomatiks)

■東京高速道路株式会社について

東京高速道路株式会社は、戦後、日本が経済成長を遂げていくためには道路網の整備が必要と考えた財界人 23 名が発起人となり、日本初の民間企業による自動車専用の道路を建設・運営するために 1951 年に設立された会社です。以来、高架道路である東京高速道路（KK 線）と、その下部にある賃貸ビルを一体的に運営し、東京都心における都市インフラの役割を担って参りました。

■KK 線再生プロジェクト 沿革

2019 年 東京都が有識者や関連行政機関による「東京高速道路（KK 線）の既存施設のあり方検討会」を設置

2020 年 同検討会が KK 線を歩行者中心の公共的空間に再生することを東京都に提言

2021 年 東京都が「東京高速道路（KK 線）再生方針」を策定

2022 年 東京都が「東京高速道路（KK 線）再生の事業化に向けた方針（中間まとめ）」を策定

2023 年 東京都が「東京高速道路（KK 線）再生の事業化に向けた方針」を策定

東京高速道路株式会社が KK 線再生の整備・管理運営主体として位置づけられる

2023 年 東京高速道路（KK 線）の上部空間について、「主要な公共施設（広場）」として都市計画決定

2024 年 共創プラットフォームの編成、始動

2024 年 齋藤精一氏が共創プラットフォームコンダクターに就任

■事業推進体制

事業主体 : 東京高速道路株式会社

土地所有者 : 東京都

プロジェクトデザイン : 共創プラットフォーム

事業コンサルタント : 三菱地所株式会社

設計コンサルタント : 株式会社三菱地所設計

【本リリースに関する報道お問い合わせ先】

東京高速道路株式会社 プロジェクト推進室

e-mail : kksen@tokyo-kousoku.co.jp